

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

2011年6月3日 No27

発行担当 神戸医療生協・山根

連絡先 090-6056-8275

ヘルスコーフおおさかの組合員さん を中心にボランティアさん 8名到着

午前、しばたクリニックに3日、4日のボランティア活動に参加されます。到着したあとオリエンテーションを行い2日間のスケジュールを確認、元坂元中学跡地に立つ仮設住宅への訪問に向かいました。まず真庭にある土葬墓地を見学し黙祷、道中被災地の惨状を目の当たりにし瓦礫の山に呆然、津波被害の現実を見てあまりの被害の大きさを実感、支援ボランティア活動を始めました。仮設住宅の訪問では7人家族で仮設ぐらしの家族がおられ、この地域では1軒屋で暮らして来たので壁こしに他人の声がる生活はストレス、新しい車が流され車のローンは請求がある、また仮設住宅は2年間その後の生活などを考えたら不安など、今の生活と将来に対する不安な気持ちを持っておられることがわかりました。引き続き明日も訪問し今後の支援にかかしていきたいと考えています。

依頼件数

泥かき	8件
床板はがし	3件
庭掃除	4件
引越し	0件
かたづけ	1件

6月11日に向けボランティア支援の準備を進めています。

現時点での支援者はバス9台に分乗して200人を超える参加集約の連絡があり、ボランティアを必要としておられる被災者に少しでも役立つようにと準備を進めています。震災後3ヶ月が過ぎようとする中、山元町内で全壊で住むことをあきらめた住宅以外は片付けが進んできています。その中で花釜地区の立ち入り許容区域内にある区域で1軒の支援だけでなく周辺地域も含め出来るだけ広い地域の庭の片付け、住宅内の泥だしなどを進める準備を進めています。



月見さんご苦労さまでした。

大阪民医連事務局から状況調査と受入れ準備で槻木事務所で一緒になって支援準備を進めました。支援物資の準備など様々お手伝いいただきご苦労さまでした。

